

〈H19-am-6-A : 問題〉

次の文は、正軸正角円錐図法について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。
次の中から選べ。

1. 経線は、投影面である円錐の頂点から放射する直線で表され、緯線は、この円錐の頂点を中心とする同心の円弧で表される。
2. 投影面となる円錐の頂点において、2本の経線のなす角度は、地球上の経度差よりも小さくなる。
3. 標準緯線の長さは、ひずみなく投影される。
4. 投影面となる円錐が地球と交わる割円錐図法の縮尺係数は、2本の標準緯線の間緯度帯では1より小さくなる。
5. 割円錐図法は、中緯度地域で、経線方向(南北方向)に幅広い地域を表すのに適している。

<H19-am-6-B : 問題>

次の文は、縮尺 1/50,000 の地形図を編集する場合の一般的な編集技法について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. 鉄道と海岸線が近接して並行している場合、鉄道を真位置に描画し、海岸線を海側に転位する。
2. 山間部などの屈曲の多い道路を描く場合、主要な屈曲を優先して描画し、その他は全体の概況を保つように簡略化して描画する。
3. 登山道の通っている山の稜線が市町村の境界となっている場合、登山道を真位置に描画し、境界を転位する。
4. 長い直線区間を有する鉄道と三角点が近接している場合、三角点を真位置に描画し、鉄道を転位する。
5. 建物がほぼ一定間隔に分布している団地で、建物のすべてを表示することができない場合、向きと並びを考慮し、建物を間引いて描画する。

〈H19-am-6-C：問題〉

図 6－1 は、国土地理院発行の 1/25,000 地形図の一部を 1/30,000 に縮小(一部改変)したものである。この図の中央に描かれた島の面積はいくらか。最も近いものを次の中から選べ。

なお、図 6－1 の図郭線上には 5mm 間隔の目盛を付してある。

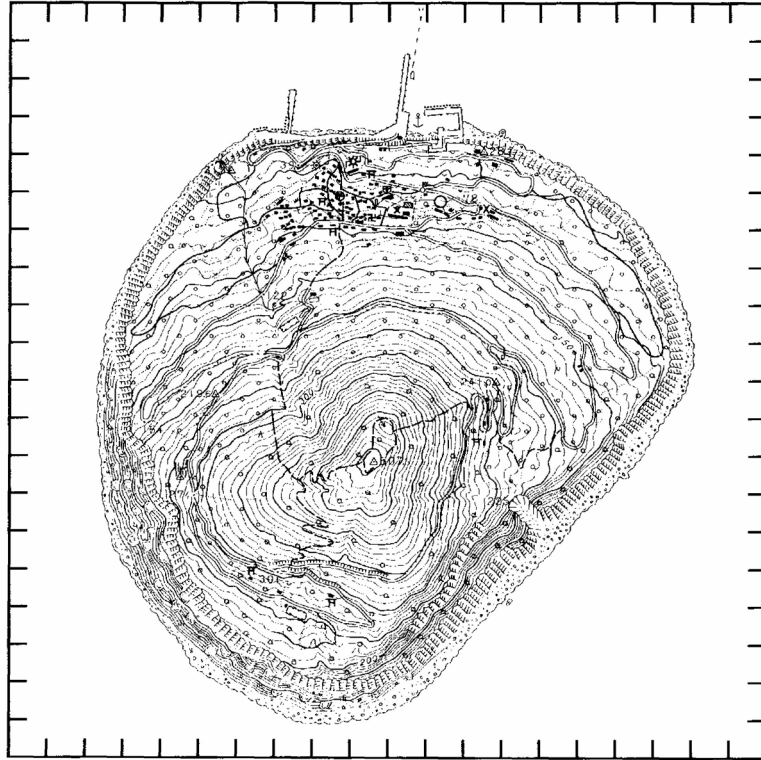


図 6－1

※印刷の関係で、縮尺が正しく表示されない場合があります。

1. 1.8 km^2
2. 2.0 km^2
3. 2.9 km^2
4. 3.5 km^2
5. 4.1 km^2

〈H19-am-6-D : 問題〉

次の文は、地理情報標準に基づいて作成された空間データについて説明したものである。

ア ～ ウ の中に入る語句の組合せとして最も適当なものはどれか。次の中から選べ。

地理情報標準は、地理情報システム (GIS) の基盤となる空間データを異なるシステム間で相互利用する際の互換性の確保を主な目的に、データの設計、品質、仕様書き方などのルールを定めたものである。

地理情報標準順に基づいて作成された空間データを利用するためには、まずそのデータがどこに存在するのかを調べる必要がある。ア は、空間データの検索をインターネット上で行うための仕組みであり、ア に登録されている イ の中に記載されている情報をもとに検索を行うことができる。イ には、空間データの作成者・管理者などの情報、品質に関する情報など、空間データを説明するための様々な情報が記述されている。

また、空間データを実際に利用するには、データの定義、構造、品質、記録方法などを知る必要がある。この定義、品質、記録方法などは、空間データの ウ に共通のルールで記述されている。ウ はデータ作成発注時には発注仕様書として、データ交換時にはデータの解脫書として利用することができる。

	ア	イ	ウ
1.	メタデータ	クリアリングハウス	製品仕様書
2.	クリアリングハウス	メタデータ	製品仕様書
3.	クリアリングハウス	メタデータ	精度管理表
4.	メタデータ	クリアリングハウス	精度管理表
5.	メタデータ	クリアリングハウス	工程管理表